

## 発刊のご挨拶

日本貸金業協会

会長 今井 三夫



このたび、平成29年度の協会活動についてご報告するとともに、関係資料及び公知情報などをお届けいたします。

平成30年6月第11回定時総会後の理事会で会長に就任することになりました。その重責を全うする決意と行動をもって協会の運営を行って参ります。

平成29年度は協会設立から10周年を迎え、各協会員様の社内体制や法令等遵守態勢の整備等が進んだことから、貸金業界の健全化が大きく進展し、社会的評価の向上にも資する状況になってきております。

また、この10年間縮小傾向を続けてきた貸金市場では、社会情勢や事業環境の変化から貸金業者の事業規模、業態、あるいは地域によって資金供給機能に格差が生じている構造的な問題及び事業継続上の課題が窺われます。

その一方、最近の貸金市場では残高の下げ止まりの兆候が見え、過払い金も減少傾向にある中、AIやビッグデータ等を活用した新たな金融サービスの広がりなど、従来にはなかった新しい取り組みが起きている状況でもあります。これらは、異業種からの新しい担い手の出現と新しいマーケットの創出と評価でき、貸金業界を取り巻く社会環境も大きく変わりつつあると思います。

本協会は、これからも、こうした課題等にしっかりと取り組み、社会から適切な評価を受け、更なる健全な業界の発展に資する役割を担うとともに、資金需要者からより一層の支持を受ける取り組みを行ってまいります。

今回発刊する年次報告書をご確認していただき協会活動に対するご理解を深めていただければ幸甚です。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。